

田口佳史さんに問う中国古典 『史記・列伝』



講師

東洋思想研究家
株式会社イメージプラン代表取締役社長

田口 佳史 Yoshifumi Taguchi

”究極の古典”を通して歴史に学ぶ

司馬遷の『史記』は中国の代表的歴史書です。中でも個人の人物伝である「列伝」は、その最大の特徴といわれており、「紀伝体」という歴史書書式の由来となりました。歴史の流れに加えて、彩色豊かな人間像を描写したことで、ジオラマを見るかのような立体的な歴史理解が可能になりました。「列伝」は、劇的な事件や怨念・愛憎劇をあますところなく描写しており、人間という不可思議で恐ろしい存在への深い洞察に満ちています。今回の講座では、究極の古典とも言うべき『史記・列伝』を通して、皆さんと一緒に歴史に学んでみたいと思います。

田口 佳史

10/2

18:30-21:30

『史記』とは何か

1

古代中国には春秋・戦国時代といわれる五百年にも及ぶ大混乱期がありました。それは全てがご破算になる恐怖と千載一遇の機会が並列する激しい時代でありました。一回目は、『史記』の概要を掴むと同時に、中国古代史を題材にして、時代の大きな曲がり角の真っ只中にいる私達が如何に生きるべきかを考えます。

11/13

18:30-21:30

「伍子胥列伝」を読む

艱難辛苦を経験した司馬遷の抱いた思いの一つに「怨」があります。「伍子胥列伝」は、それが最も強く表れた巻だといわれています。人の心に食い込んだ怨恨の恐ろしさを冷徹に描きだした一節を通して、「怨」の意味するところを探りつつ、その解消の行方を論じます。

10/16

18:30-21:30

「伯夷列伝」「管・晏列伝」
「老子・韓非列伝」を読む

二回目は、巻頭の名高い列伝の数々を読み「列伝」の世界観を理解します。正義が必ずしも日の目をみるわけではない現実を提示する「伯夷列伝」、対照的な二人の名宰相を論じた「管・晏列伝」には、「列伝」に通底する思想がみとれます。「老子・韓非列伝」は老子を中心に読みます。

11/27

18:30-21:30

「魏公子列伝」を読む

「魏公子列伝」は、「富貴でありながら貧賤のものにもへりくだり、賢明ながら愚かなものにも頭を下げる事ができた」人格者、魏の信陵君を取り上げた巻です。『史記・列伝』の中でも、名文中の名文といわれる文章を味わい、名文家としての司馬遷の側面を味わいます。

10/30

18:30-21:30

「太史公自序」「任少卿
に報ずる書」を読む

「列伝」の世界観には、編纂者である司馬遷の人生が色濃く反映されています。列伝の最終巻である「太史公自序」や「任少卿に報ずる書」には、「史記」のために宮刑の屈辱に堪えて生きる道を選んだ司馬遷の、人間社会への強烈な好奇心と絶望さえも吹っ切ってしまう執念を読みとることができます。

12/11

18:30-21:30

「貨殖列伝」を読む

「列伝」は、実は多様な内容で構成されており、それも魅力として逃し難い点です。その典型として「貨殖列伝」を読みます。一代で巨大の富を築いた人々の逸話もあり、更に広大な中国各地の地場産業を活用した発展の仕方もあり、司馬遷の地理的特性に対する知識の多さに驚かされます。

『史記・列伝』とは

前漢時代(紀元前99年頃)に成立した古代中国の歴史書。年代記である「本紀」十二巻、「表」十巻、「書」八巻、「世家」三十巻、「列伝」七十巻で構成される膨大な通史です。司馬遷の父司馬談の遺命によって始められ、途中投獄・宮刑の艱難や屈辱を乗り越え、親子二代の悲願として十数年を経て編み上げたとされています。

講師プロフィール

田口 佳史 たぐち よしふみ

1942年東京生まれ。新進の記録映画監督として活躍していた25歳の時、タイ国バンコク市郊外で重傷を負い、生死の境で「老子」と出会う。奇跡的に生還し、以降中国古典思想研究四十数年。東洋倫理学、東洋リーダーシップ論の第一人者。企業、官公庁、地方自治体、教育機関など全国各地で講演講義を続け、1万名を超える社会人教育の実績がある。1998年に老荘思想的経営論「タオ・マネジメント」を発表、米国でも英語版が発刊され、東洋思想と西洋先端技法との融合による新しい経営思想として注目される。

■主な著書

『ビジネスリーダーのための「貞観政要」講義』(光文社)
『孫子の至言』『老子の無言』『論語の一言』(すべて光文社知恵の森文庫)
※慶應MCCで開催された講座の講義内容が書籍になりました(上記4冊)。
『ビジネスリーダーのための老子「道德経」講義』(致知出版社)
『東洋思想に学ぶ40代から人として強くなる法』(三笠書房)
『上に立つ者の度量』(PHP研究所)
『清く美しい流れ』(PHP研究所)

開催概要

日程	2017年10/2、10/16、10/30、11/13、11/27、12/11(すべて月曜日)
回数	6回
時間	18:30-21:30(3時間)
定員	25名
会場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	108,000円(税込)
おすすめしたい方	◎中国古典の思想・考え方をビジネスや人生に役立てたい方 ◎生きる上での哲学や価値観の重要性を認識し、醸成したい方

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項に記入の上、FAXにてお送り下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。
本申込書の受領をもってその内容を承諾いただいたものとみなします。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agora.net/>

参加者

講座名	田口佳史さんに問う中国古典『史記・列伝』	<input type="checkbox"/> agoraメンバーシップに申し込む
会社・団体名		
所属・役職		
フリガナ		
氏名		
住所(資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒	
TEL	-	-
FAX	-	-
e-mail		

■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費の振込のないことをもってキャンセルとはみなしません。キャンセルの際は必ずご連絡ください。◆開講28日前まで：キャンセル料は発生しません。◆開講27日～21日前まで：参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講20日～14日前まで：参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講13日前以内：参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。◆当方の都合でプログラムを中止する場合は全額返金いたします。

個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報の提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報の提出をお願いいたします。また、お申込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。
<https://www.keiommcc.com/privacy.html>
なお、Webを見ることができない場合、または上記に関する質問等がございましたら、右記までお問合せください。

支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込(振込手数料ご負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード

割引制度(個人申込のみ)

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 下記に他講座名を記入して下さい [] <input type="checkbox"/> 継続受講割引 <input type="checkbox"/> 慶應カード割引
--

■割引制度(個人) 夕学五十講、クロシングは慶應カード割引のみ適用
【複数申込割引】一度に複数の講座へお申し込みされた場合、参加費を最大20%割引いたします。ビジネスプログラムとの組み合わせも対象となります。
◆20%割引: 108,000円(消費税8%込)以上のagoraおよび知的基盤能力プログラムを複数同時に申し込んだ場合
◆10%割引: 上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合
【継続受講割引】過去に慶應MCCのプログラム・講座に参加し、終了日より1年以内にお申し込みされた場合、参加費を10%割引いたします。過去に法人で参加された方も、個人で参加される場合は対象となります。
【慶應カード割引】慶應カード会員の方が個人でお支払される場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

■割引制度(法人)

agoraおよびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。(夕学五十講、クロシングは対象外)
詳しくは下記までお問合せ下さい。

お問合せ

東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階
株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 E-mail:info@keiommcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきたく存じます。
ご不要の方は右記にチェックをお願いいたします。